

令和 8 年 度
契 第 190 号

大垣競輪場 サイト・スタント 南東部屋根防水改修工事設計書

大垣市 早苗町 地内

大 垣 市

工事名称

大垣競輪場 サイド・スタンド南東部屋根防水改修工事

仕 様 書

工事概要

サイドスタンド南東部屋根の防水改修工事を行うもの。
・サイドスタンド屋根および階段屋根：ウレタン吹付塗膜防水
・サイドスタンド屋根および階段屋根の軒樋：ウレタン塗膜防水・DP塗装

工事場所

大垣市 早苗町 地内

本工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」「公共建築工事標準仕様書（設備工事編）」「公共建設設備工事標準準図（機械設備工事編）」「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」「公共建設設備工事標準準図（電気設備工事編）」「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）」「建築物解体工事共通仕様書」「建築工事標準詳細図」「工事写真の撮り方」（いずれも最新版）を使用する。

I. 共通事項

週休二日の対応

・本工事における週休2日制工事の実施の指定については、下表のとおりとする。週休2日制工事については、「大垣市週休2日制工事要領」に基づき実施すること。

適 用	週休2日制工事の方式 又は 適用除外の理由
○	発注者指定型：週単位の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。 ※完全週休2日を原則とする
	発注者指定型：月単位の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。 ※完全週休2日を原則とする
	発注者指定型：通期の週休2日制工事（現場閉所）として実施する。
	適用除外：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第1号の規定による。
	適用除外：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第2号の規定による。
	適用除外：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第3号の規定による。
	適用除外：大垣市週休2日制工事要領第2条第2項第4号の規定による。

・受注者は、「建設現場の週休2日」の普及及び浸透に向けて、週休2日制工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー（中部地区統一の一斉休工）」に取組むものとする。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めものではない。
・休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。（巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く）

事前調査

・本工事施工前に現況調査を十分に行うこと。尚、不明な点は市監督員との協議による。
・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管財課契約グループに問い合わせること。

下請負人の選定

・受注者は、下請負人を選定するとき又は資材等を調達するときは、「大垣市公契約条例」（平成28年3月24日 条例第4号、以下「公契約条例」という。）に基づき、市内事業者の積極的な活用に努めなければならない。

官公署等への手続

・工事の完成に必要な官公署等への手続は、費用を含め受注者の責任に於て行うこと。

関連工事の調整

・密接に関連する次の別途工事について、当該工事関係者と工事全体の円滑な施しに努めること。
別途工事：メインスタンドEV工事

文化財の保護

・本工事の施工範囲内における埋蔵文化財包蔵地の有無に関する事前調査結果は次のとおり。

埋蔵文化財包蔵地の有無	遺 跡 名	備 考
無		

遠隔臨場の実施

・本工事において、大垣市建設工事における遠隔臨場に關する試行の対象工事の適用の有無については、下表のとおり。

適 用	遠隔臨場の適用方式の有無	遠隔臨場・Web会議システムの利用期間
	発注者指定方式として実施する。	〇〇日間
○	受注者希望方式とする。（受注者が希望する場合は実施する）	

・「大垣市建設工事における遠隔臨場に関する試行要領」に基づき実施するものとする。
・受注者希望方式は、工事契約後に発注者の承諾を得ること。

安全管理

・受注者は災害公害及び危険防止のため、関係法規の定めるところに従い充分な策を講じ施工すること。
尚、必要があれば適切に足場・仮囲い・養生等を行うこと。
・工事中発生した公害及び近隣よりの苦情に対しては、施工者の責任において対処する。
・工事中は必要に応じて交通誘導員を置き、他への安全に期する。
・車両の出入りに際しては、土落とし等の対策を行うなど、周辺道路の汚損等が無いような対策をとること。
汚損した場合は、直ちに清掃、修復を行うこと。

保険等

・第三者に損害を与えた場合及び工事目的物、工事材料に損害を被った場合の保証を目的とする損害保険、建設工事保険等に加入すること。
・受注者の契約の相手方となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定による。
・受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。

使用材料工法

・使用材料の選定に当たっては、環境に優しい材料及びリサイクル商品（グリーン購入法）、エコマーク製品の使用、環境負荷を軽減する工法を考慮すること。
・本工事に使用する建築材料等は、本図書に規定するものとこれらと同等のものとし、その場合は市監督員の承諾を受けること。

施工图等

・次の工事については、その施工前に施工图を提出し、市監督員の承諾を受けること。

隠蔽部の検査

・埋戻し、コンクリート打設及び内外装の仕上げ等により工事部分が隠蔽となる部分については、市監督員の立ち会い・検査を受けること。また、立会い・検査が困難な場合は、承諾を受けた後、施工前・施工中・施工後を写真等で確認できるようにすること。

廃棄物の処分

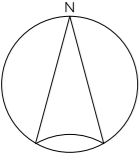
・解体及び解体材の処分にあたっては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）（以下、「建設リサイクル法」という。）に準じ、分別解体、再資源化を図ること。
また、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年 法律第137号）により収集・運搬・最終処分等、担当責任者別に受託契約書を締結し、その写し、処分状況報告書（記録写真、処分書類等）及びCOBRISを提出すること。

石綿含有建材の調査

・本工事において、大気汚染防止法、石綿障害予防規則に基づく事前調査の実施の対象内外については、次のとおり。

適 用	項 目
○	調査対象
	調査対象外 ※石綿等の粉塵が発散しないことが明らかであるため

1）事前調査
以下の項目について ○印の付いたものを適用する。
○書面調査
○目視調査（建築物の着工日が平成18年9月1日以降である場合を除く。）
・分析調査（書面調査及び目視調査により石綿含有の有無が把握できない場合。）
・調査済結果確認（令和〇年〇月末調査）
・石綿含有建材 【 】【



工事場所

付近見取図 S=Non Scale

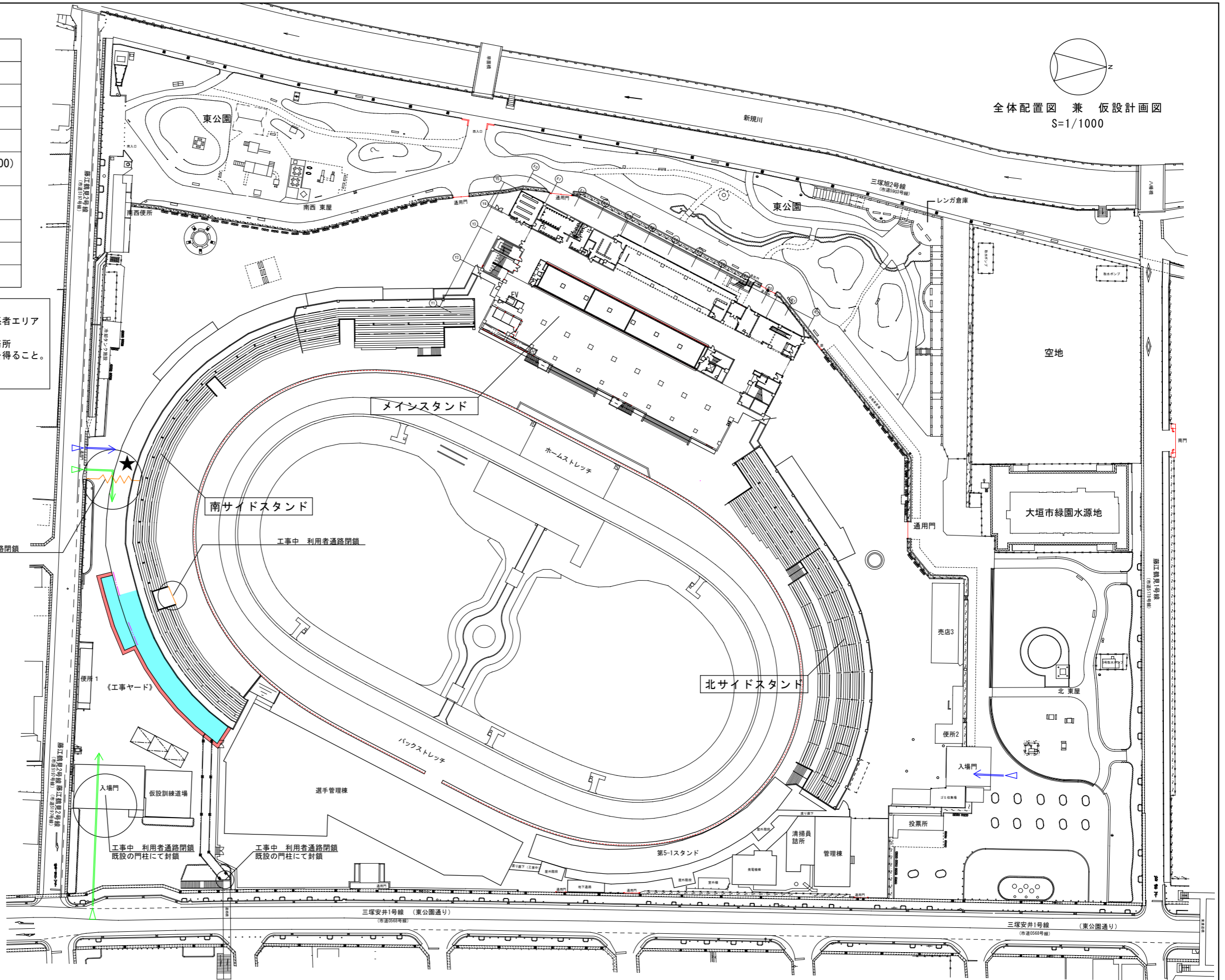
工事スケジュール表							
年 度	令和8年度						
月	8	9	10	11	12	1	2
工事準備期間							
仮設工事							
屋根状態確認（調査）							
工事前試験（ﾌﾗｲｱｰ等）							
防水・塗装工事							
各種検査							
引き渡し							

引き渡し

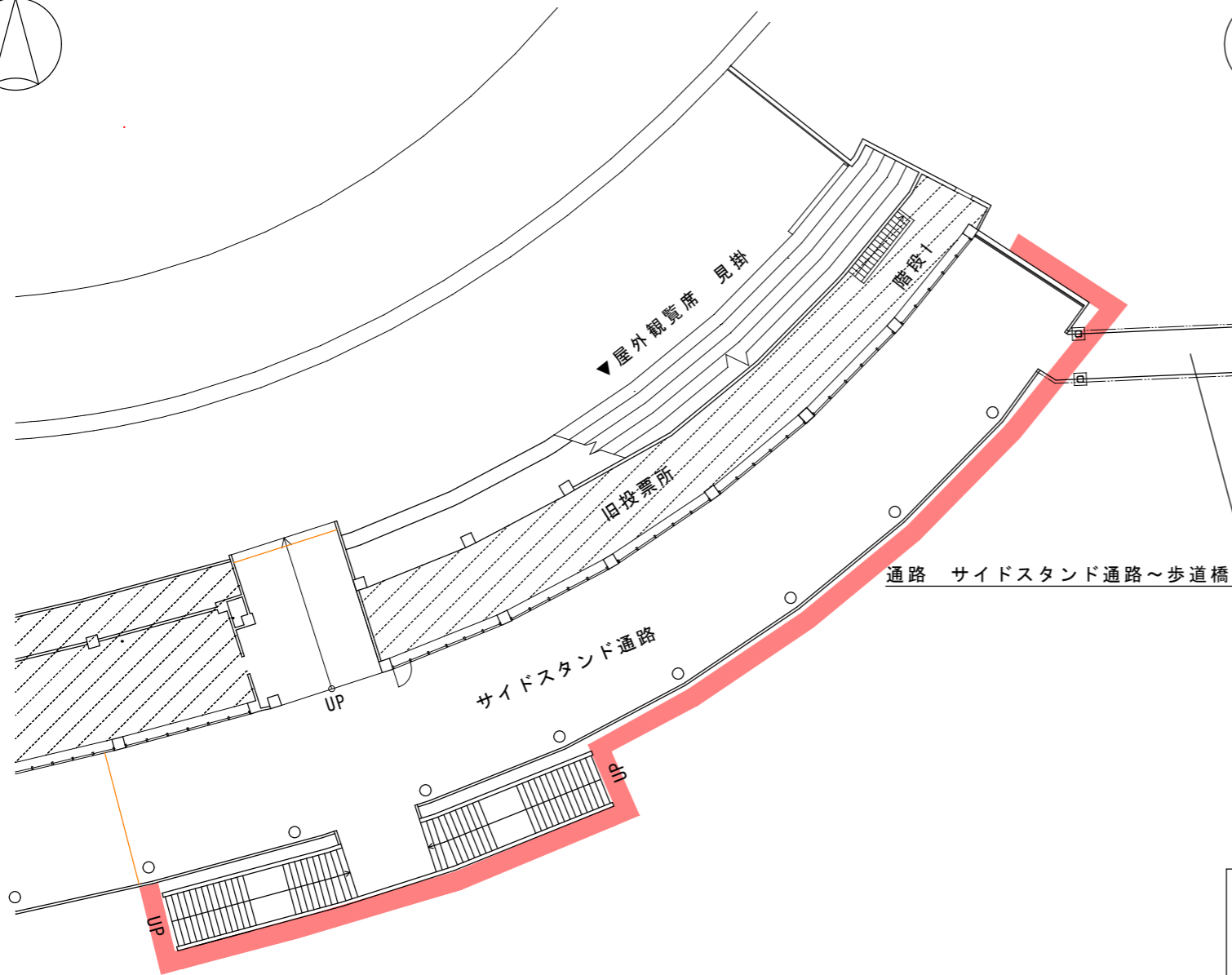
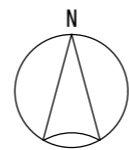
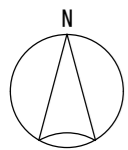
提出書類表	
契 約 書 類	項 目
契 約 書 類	R08.4～ ★着工届 ★現場代理人・（専任）主任技術者・監理技術者補佐届・（専任ノ特例）監理技術者届 ※（専任）主任技術者・監理技術者補佐届は、資格要件のわかる書類添付（経歴書または資格証の写し） ※（専任ノ特例）監理技術者は、監理技術者有資格者証の写しを添付 ※現場代理人届に、直接的な雇用関係がわかる書類を添付 ※各種技術者届に、直接3ヶ月以上の雇用関係がわかる書類を添付 ★工程表（ﾈｯﾄﾜｰｸと出来高予定を含む） ※契約後10日以内 請負代金内訳書 ※発注者が指示した場合に限る 約款第3条 各種工事保険証書の写し ※火災保険、建設工事保険 約款第58条
	★完成届 ★出来形届書 ※支払いがある場合にその都度 ★請求書 完成写真（着工前・完成） ※ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾞｰﾊﾟｰ付（完成写真の方に色付け、撤去部分：青、新設部分：赤） 写真撮影方向を示す図面添付
	1 完成図 2 施工図 3 保証書・取扱説明書 ※保証書の保証開始日は、引渡し日（完成検査合格日） 4 現況調査報告書（現場着手前の周辺道路、水路、境界構造物、KBM等を調査し、現況写真を添付） 5 家屋調査報告書（事前、事後） ※別ﾌｧｲﾙ可
	1 完成写真（着工前・完成） ※ﾄﾚｰｼﾝｸﾞﾍﾞｰﾊﾟｰなし 2 工事写真 ・工種別写真（着工前・中・完成） ・安全管理状況写真 ・標識・掲示写真（建設業許可票、労災保険関係成立票、施工体系図、下請負人に対する通知、建退共制度事業主の現場標識、緊急時連絡票、作業主任者選任表示板、建基法による確認表示板、解体工事業者登録票、石綿事前調査結果、石綿使用した建築物の解体工事のお知らせ、再生資源利用促進計画書、工事表示板（W900×H1200）） ※全体および拡大写真 3 工程表 ・全体工程表、実施工程表、月間工程表、週間工程表（休日、夜間作業届を兼ねる） 4 施工計画書 ・総合施工計画書 ・工種別の施工計画書（施工要領書） 5 施工体制関係書類 ・施工体制台帳 ※県第18号様式 ・主任（監理）技術者の資格要件を証明する書面、雇用を証明する書面 ・施工体系図 ※県第19号様式 ・契約書の写し（元請け、下請け全て） ・作業員名簿 ※県第18-2号様式
	6 産業廃棄物関係書類 ※廃棄物処理法施行令第6条の2 ・産業廃棄物処理委託契約書（写し） ・処理業者（収集・運搬・処分）の許可証（写） ・中間・最終処分場までの運搬経路図、写真 ・産業廃棄物管理表（ﾏﾆﾌｪｽﾄﾔﾏ） ※掲示のみ
完 成 成 果 品 書 類	7 再生資源関係書類（COBRIS） ※請負代金100万円以上 ・再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書 ・再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書 ※提示のみ
	8 出来形管理 ・月毎の工事履行報告書（出来形率、工程表、写真） ※補助工事または工期6ヶ月超の工事 ・工種別の出来形管理資料（出来形管理図、測定結果一覧表）
	9 品質管理 ・工種別の品質管理資料（品質管理図、基準値対比表、写真） ※建物位置・高さ、杭芯ズレ、基礎寸法、鉄筋外観、鉄骨建起し、内装墨位置等 ・工種別の試験結果報告書 ※コンクリート強度試験、鉄筋（鉄骨）超音波探傷試験、塗膜厚測定試験、VOC環境測定試験
	10 使用材料 ・材料承諾書（全ての材料） ※材料資料（メーカーカタログ、大臣認定書、JIS規格書、コンクリート配合計画書等） ※設計数量と計画数量の対比表 ・出荷証明書（メーカー出荷証明書、納品書、ミルシート等）
	11 打合せ記録 ・打合せ記録簿（定例会議、個別会議） ・設計図書の疑義による協議書および指示書
	12 安全管理・安全教育 ・道路使用許可等の関係機関の許可書の写し ・使用機械・工具・車両等の点検等、過積載防止の記録簿 ※提示のみ ・安全教育実施報告書、安全巡視、TBM、KY等の実施記録、新規入場者教育の実施書 ※提示のみ
	13 建設業退職金共済制度関係 ・建設業退職金共済制度掛金収納書 ・建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表 ※提示のみ
	14 工事保険関係 ・火災保険、建設工事保険証券の写し（保険の範囲がわかる約款、カタログ等も添付）
	15 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施活動 ・実施状況報告書 ※実施した場合 ※工期短縮の工夫、品質向上の工夫、地域社会や住民に関する貢献等
	16 各種法令等に基づく書面関係 ・解体工事等に係る調査結果説明書（大気汚染防止法第18条の15第1項） ・特定粉じん排出等作業結果報告書（大気汚染防止法第18条の23第1項） ・休日取得計画工程表、休日取得実施書、週休2日制工事（現場閉所）報告書 等（大垣市発注の週休2日制工事要領第4条） ・工事に必要な官公署等への届出書類
	17 その他 ・監督員通知書 ・工事検査報告書（社内検査、建築課検査） ・上述No. 1～16以外の工事書類（提出書、報告書ほか）
(1) 上表の完成成果品書類欄の各書類は、原則、紙面で市指定の表紙（指示・承諾・協議・提出・報告書）を付して、2部（正・副）提出し、決裁された1部（正）を完成成果品とすること。 (2) 完成成果品書類の電子データは、完成時にまとめてCD又はDVD（本体共）にて提出すること。 ※CD・DVDは、完成成果品書類の赤ﾌｧｲﾙに、2穴付き不織布ケース（ﾀﾞｲﾔｸﾞﾗﾑ FCD-FRBD50W）で同梱すること。 ※最新のパターンﾌｧｲﾙを適用したウイルスソフトでスキャンしたものに限り。 (3) 完成成果品書類は、背幅伸縮ﾌｧｲﾙ（ｺｰﾃﾞｨﾅｰ V90 ｻｲｽﾞ：A4-S）に上表の赤ﾌｧｲﾙ、青（灰）ﾌｧｲﾙ別に綴り、市指定の表紙を貼ること。 (4) 完成成果品書類のﾌｧｲﾙが5冊を超える場合は、市指定の収納箱に入れて提出すること。 (5) ★印の書類は、https://www.city.okazaki.lg.jp/0000007329.htmlに掲載。	

【凡例】	
	利用者動線
	工事関係者動線
	工事範囲
	親網
	外部足場（くさび緊結式足場 W900） メッシュシート
	足場・解体撤去車両置場
	ガードフェンス H=1.8m
	シャッターゲート W=3.6m 1箇所
	交通誘導員 80人工程度

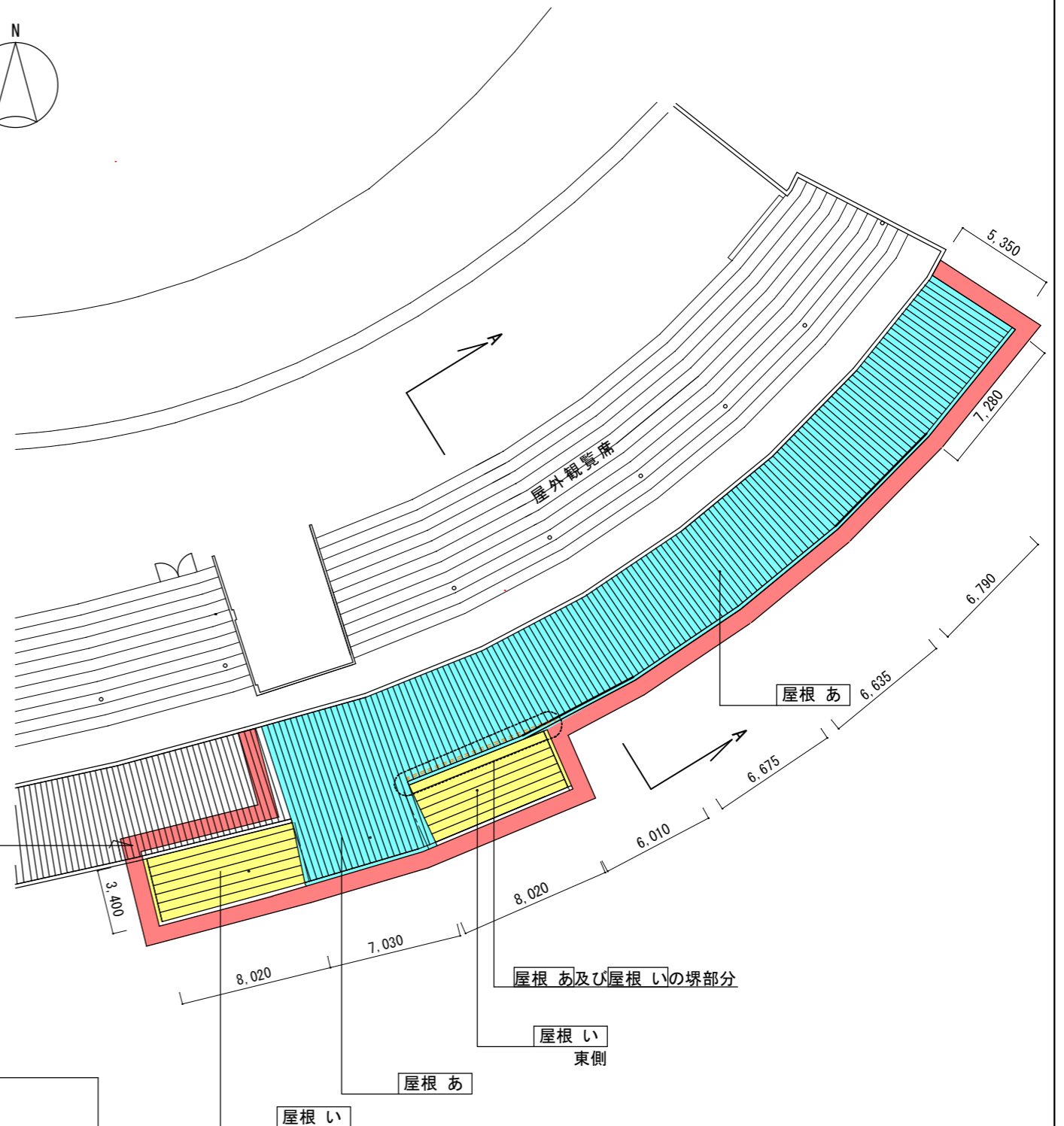
- 【特記事項】
- ・工事にあたっては、安全確保の為、利用者エリアと工事関係者エリアを明確に分ける仮設計画を提示すること。
 - ・仮設計画の立案にあたっては、工事着手前に公営競技事務所監督員・受注者等関係者を集め綿密な打合せを行い、承諾を得ること。



全体配置図 兼 仮設計画図
S=1/1000



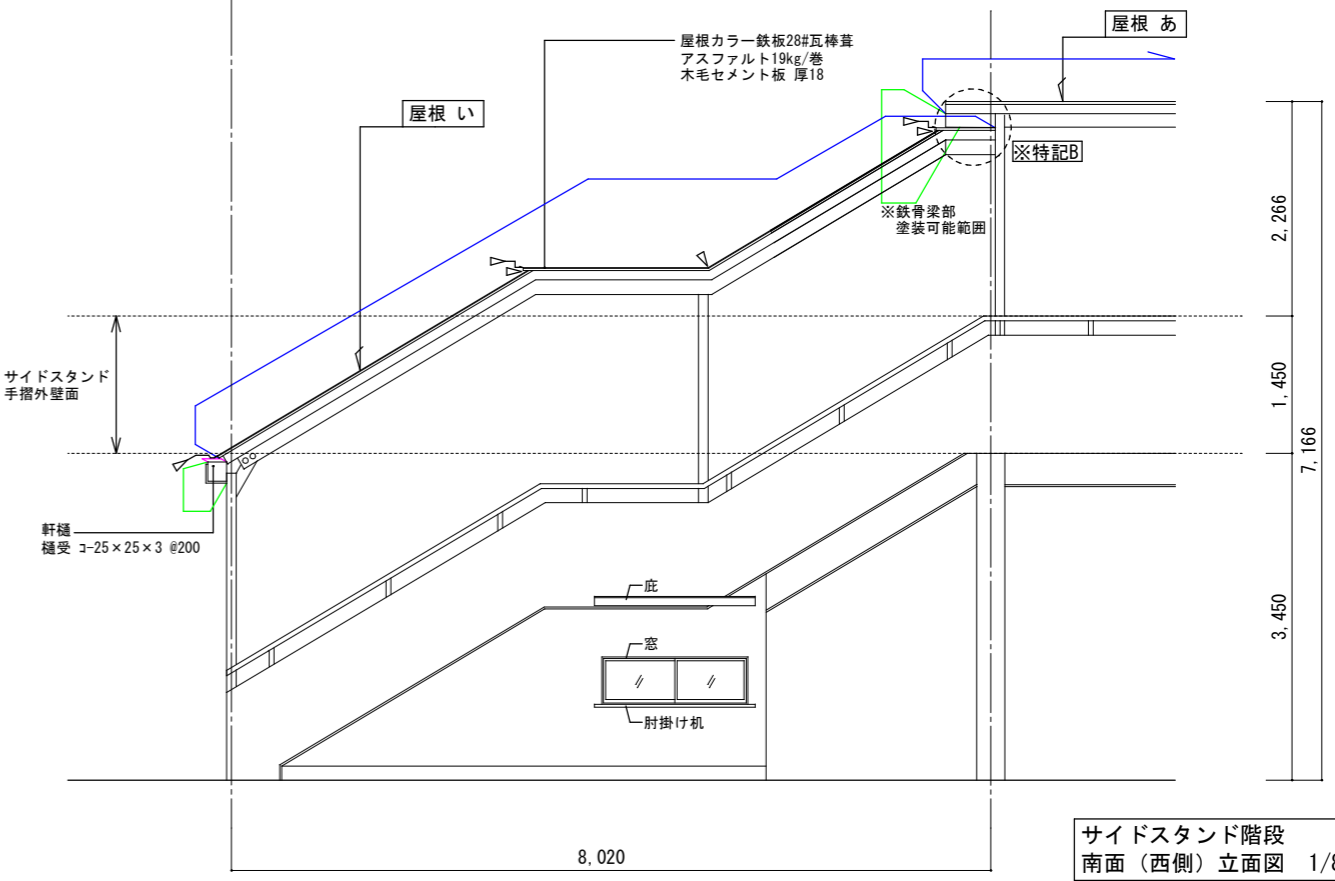
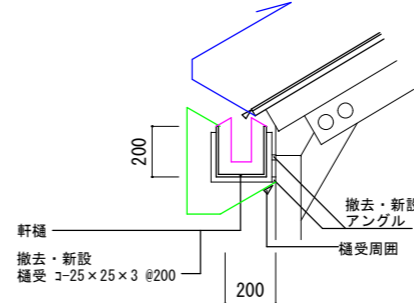
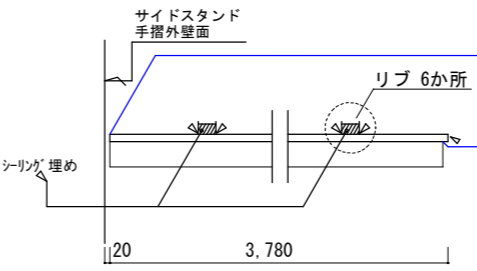
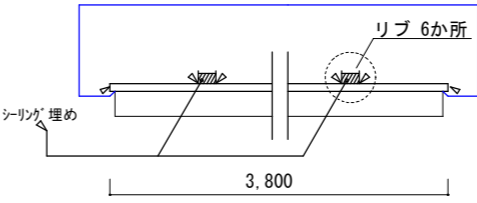
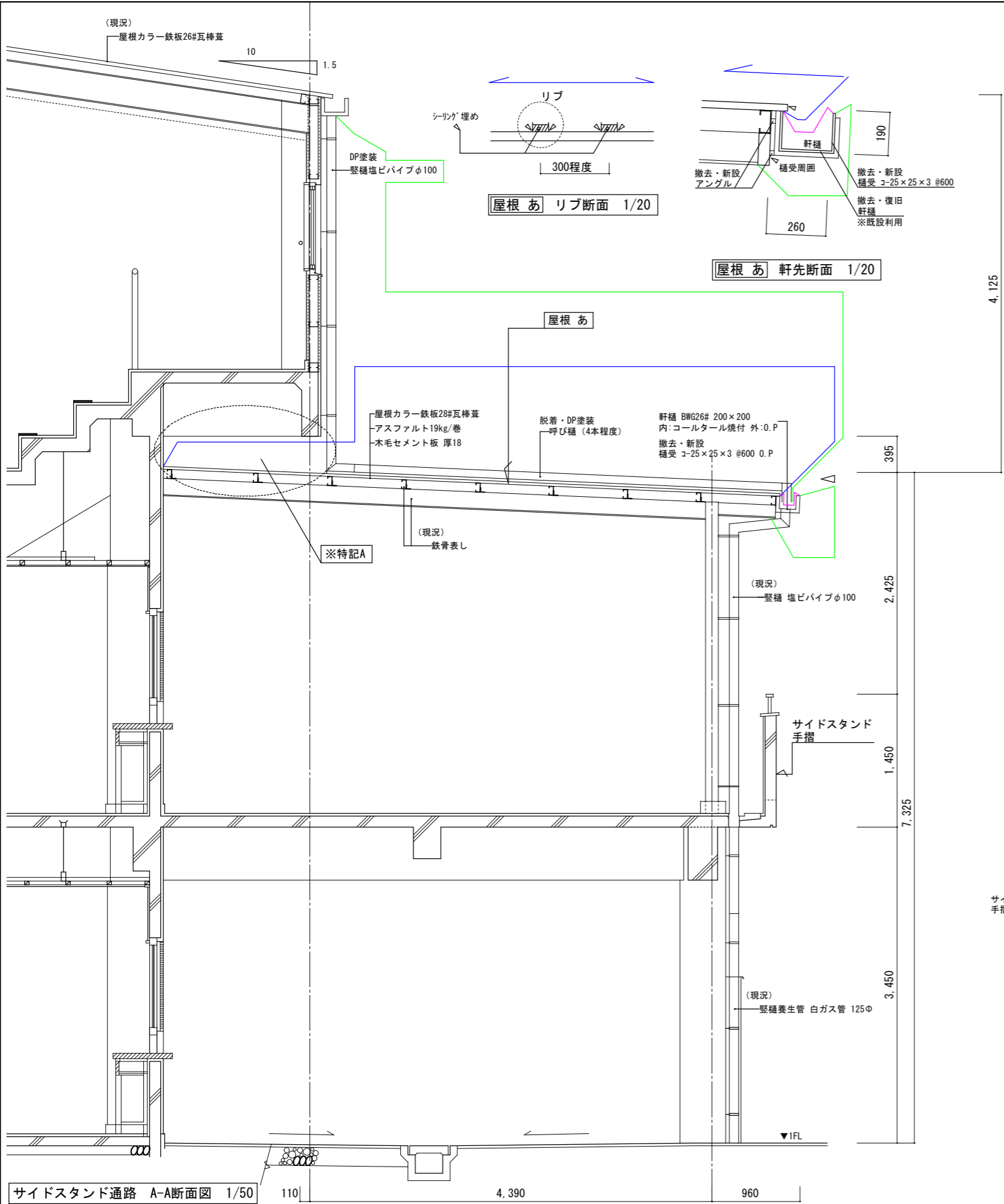
2階平面図（工事箇所抜粋） 1/300



3階平面図（工事箇所抜粋） 1/300

凡 例	
	屋根 あ サイドスタンド 通路屋根 ・屋根面：(A)施工 ウレタン塗膜吹付防水 ・軒樋：(B)施工 ウレタン塗膜防水
	屋根 い サイドスタンド 階段屋根 ・屋根面：(A)施工 ウレタン塗膜吹付防水 ・軒樋：(B)施工 ウレタン塗膜防水
	外部足場（くさび緊結式足場 W900）・メッシュシート
	ガードフェンス H=1.8m
	親綱

備 考
・(A)施工前に周辺に飛散しないように十分に飛散養生を行うこと。
・安全配慮のため、親綱を設置すること。
※屋根 あおよび屋根 いの堺部分に高低差が生じるため。また、当該堺部分に、外部足場の設置困難のため。
・ウレタン吹付塗膜防水の施工のため、屋根前面に飛散養生を行うこと。



凡 例	
①	【ウレタン吹付塗膜防水】 ・付着ゴミ等ケレン清掃 および 全面高圧水洗浄の上、下地調整 (軒樋共) ・屋根カラー鉄板の重ねジョイント (リブ)、目地：シーリング ・接手ジョイント：絶縁テープ処理 ・ウレタン吹付塗膜防水
②	【ウレタン塗膜防水】 軒先・軒樋部 (樋内部も含む) ・付着ゴミ等ケレン 及び 全面高圧水洗浄 ・ウレタン塗膜防水
DP塗装 (フッ素)	シーリング
備 考	
① 施工前に周辺に飛散しないよう十分に飛散養生を行うこと。	
・呼び樋は、①施工に影響がないように脱着すること。	
・サイドスタンド屋根および階段屋根について、施工前調査を行うこと。	
・屋根鉄板について、①施工ができない劣化状況の場合、当て金属板を設置して、①施工すること。 なお、施工前に劣化部の範囲と劣化状況が確認できる工事書類を提出し、監督員と協議すること。 ※端部、ビス止め部分：シーリング施工	
・ドレン廻り ウレタン塗り込み処理	
② 施工を行えない箇所 (手・施工器具が入らない、届かない) 等の場合、 ② 施工を行うこと (代替) ※屋根 あおよび屋根 い共。 なお、施工前に施工困難箇所の範囲が確認できる箇所を提出し、監督員と協議すること。	
特記A ① 施工の範囲について、施工部屋根の上階スラブがあるため、施工可能な箇所まで、行うこと。	
特記B ・屋根 いの ① 施工の範囲について、上部に屋根 あがあるため、施工可能な箇所まで、行うこと。	